



「正しく恐れて、早めの予防」

〈コロナ対策について学校医からのアドバイス〉



○登校前の検温を徹底すること。正しい検温の仕方は、額や手首などではなく脇の下で測ること。

○陽性者の中には熱症状のない人もいる。これからの季節は、花粉症が流行するするため、診断が難しくなる。熱がなくても、風邪症状が一つでも見られたら登校、出勤を控えること。また、既往歴、接触歴、行動歴等を確認することが大切である。判断に迷うときは、学校医に連絡してほしい。

- 抗原検査は迅速検査のため、偽陽性が出る場合がある。PCR検査は確定診断に使われるため、ほぼ100%正確である。
- 校内で陽性者が1人出た場合は、保健所と連携して濃厚接触者を特定し、検査を受ける。2人出た場合は休校にした方がよい。
- 県外へ出張した場合は、帰県後3日間の在宅勤務、4日目以降にPCR検査を受け、陰性確認後の翌日から出勤するという県の通知に従うこと。

- かつの校では、1月下旬から2月いっぱい、子どもたちが楽しみにしていたスキー教室をはじめ、校外学習や職場見学など、対外的な教育活動を全て中止にしています。また、年度末PTA、入学説明会、進路後援会など、密になりそうな活動も中止とし、個別に対応しています。本人及び同居家族に風邪症状がある場合や濃厚接触者の疑いがある場合は、登校を控えてもらっています。判断に迷ったり、悩んだりしたときは無理をしない！
- 子どもたちが危機感をもち、自ら考えて予防できるように、これからも「正しく恐れて、早めの予防」を心掛けていきます。子どもたちの学びを止めない！



かつの校副校長 加賀谷 勝